

赤潮発生状況

西岡智哉・池脇義弘・平野 匠

平成27年に徳島県沿岸域で発生した赤潮について、公式に記録することを目的とする。

謝 辞

方 法

漁場環境調査等における観測や漁業者からの聞き取りを元に、赤潮の発生期間、発生海域、赤潮構成種、及び漁業被害についてまとめた。

*Karenia digitata*については、国立研究開発法人水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所の坂本節子主任研究員に同定していただいた。記して謝意を表する。

結果及び考察

表1に平成27年の赤潮発生状況、図1に赤潮発生件数と被害件数の推移、図2に赤潮発生海域をそれぞれ示した。平成27年は前年と同数の2件の発生がみられた。平成27年4月23～28日に鳴門市北灘町沿岸で渦鞭毛藻の*Noctiluca scintillans*による赤潮が確認された。

また、平成27年7月1日～13日にかけて、徳島市～阿南市沿岸に渡る広範囲で渦鞭毛藻の*Karenia digitata*による赤潮が発生した。うち、小松島市沿岸では、アオサ藻の*Oltmannsiellopsis viridis*との混合赤潮を形成した。*Karenia digitata*による赤潮は平成15年以来12年ぶり。

なお、両件とも赤潮による漁業被害は発生しなかった。

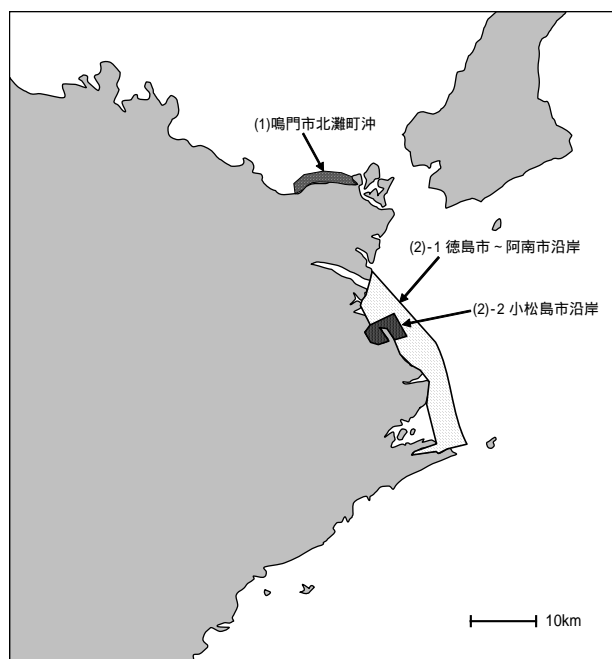


図2．赤潮発生海域。図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

表1．平成27年の赤潮発生状況

番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業被害	最高細胞数 (cells/mL)
(1)	4/23～4/28	6	鳴門市北灘町沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	不明
(2)-1	7/1～7/13	13	徳島市～阿南市沿岸	<i>Karenia digitata</i>	無	465
(2)-2	7/1～7/13	13	小松島市沿岸	<i>Oltmannsiellopsis viridis</i>	無	660

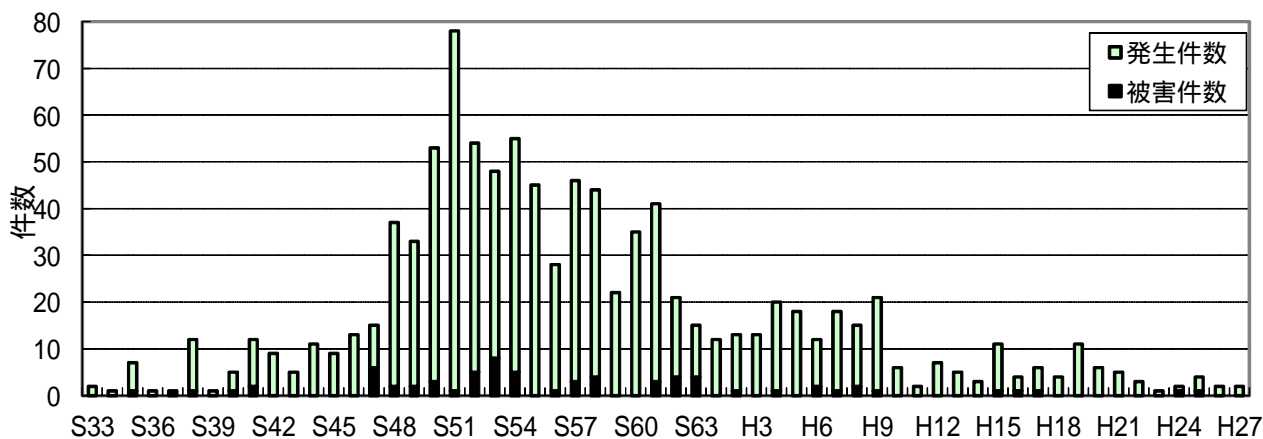


図1．赤潮の発生件数と被害件数の推移